

書籍仕入れご担当者様【ジャンル/近現代史・昭和・戦争】

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。
 新刊の『戦地巡歴』を8月上旬に発売致します。
 ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

戦地巡歴

《わが祖父の声を聴く》



わが祖父の日記(昭和5年~9年)

井上佳子◎著

定価 2200円+税 【8月上旬刊】
 四六判・288頁 ISBN 978-4-86329-176-8 C0021

「平和を生き抜く」ための言葉を 祖父の日記と戦地の記憶の中に探る旅

昭和13年7月、戦死した祖父の日記(声)と向き合い、出征後の祖父の足跡をたどって中国安慶市太湖の町へ。そこで出会った、当時を知る中国人たちの肉声を正面から受けとめた心の旅の記録。

小さな家族の歴史と記憶——
 日本のどこにでもある家族の
 戦争と戦後がここにある。

〈著者の横顔〉◆井上佳子(いのうえ・けいこ)
 1960年熊本市生まれ。1983年(株)熊本放送入社。ハンセン病、水俣病、戦争などのドキュメンタリーを制作。著書に『孤高の桜——ハンセン病を生きた人たち』(葦書房、第19回潮賞ノンフィクション部門受賞)。『壁のない風景——ハンセン病を生きる』(弦書房、第21回地方出版文化功労賞奨励賞受賞)。『三池炭鉱「月の記憶」』(石風社)がある。

【目次から】

- I わが祖父の日記のこと
- II 正直に生きる——出征前夜(昭和五年から十三年)
 - ・昭和五(一九三〇)年の日記
招魂祭/麦蒔き/米相場
 - ・昭和七(一九三二)年の日記
召集される若者たち/春の野良/愛するツギさらば
 - ・昭和八(一九三三)年の日記
砂漠の中のルビー/百姓の手/我が心の妻を待つなり
 - ・昭和九(一九三四)年の日記
干ばつの夏/分水陳情/軍国日本の秋、異状なし
 - ・昭和十二(一九三七)年の手紙
熊本陸軍病院/一等兵を命ぜられました
- III 祖父の戦争、家族の戦後
 - ・昭和十三(一九三八)年の日記
門司出港/日中戦争勃発から一年/メイヨノセンス
 - ・戦地巡歴——中国・太湖の町へ
上陸地点・安慶/潜山の街/中国での取材の難しさ
- IV 戦後は今も続いている
遺族たちの戦中と戦後/祖父の声がする

【FAX: 092-726-9886】

流通センター 取扱品 書店・帖合 小出版	冊	戦地巡歴 《わが祖父の声を聴く》 井上佳子 著	定価 2200円+税 ISBN978-4-86329-176-8
	冊	満州国の最期を背負った男 星子敏雄 荒牧邦三 著	定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-137-9
	冊	広田弘毅の笑顔とともに 《私が生きた昭和》 ゆたか はじめ 著	定価 1700円+税 ISBN 978-4-86329-051-8
ご担当者様	ご注文日	弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com